

溝小だより

<https://mizonobe-kahoku.edumap.jp/>

河北町立溝延小学校
学校通信 No.381
令和7年5月31日

伝統を引き継いで～桜堤清流太鼓～

毎年、4月の溝延桜まつりで演奏している「桜堤清流太鼓」。今年も4年生13名で披露しましたが、5月20日に、溝延小学校・第39代校長の八矢好幸先生から、桜堤清流太鼓について学ぶ授業を行いました。

4年生は総合的な学習で、桜堤清流太鼓について調べています。「いつから始まったのか」「上手に演奏するにはどうしたらいいか」など、いろいろ調べているうちに、八矢校長先生の時から太鼓が始まったことを突き止めました。そこで、担任が八矢先生に、ぜひお話をお聞きしたいとお願いしたところ、ご快諾いただき実現しました。

桜堤清流太鼓は、八矢先生が赴任した平成24年に、溝延小の特色ある活動として、子どもが楽しく生き生きと取り組んでほしい、という願いから始めたそうです。当時は、5・6年生は毎年、陸上大会や水泳大会で忙しかったため、4年生が取り組むことになり、冬になったら4年生から3年生に引き継ぐことで、毎年4年生が取り組む形になって、続いてきました。



桜堤清流太鼓には、八丈島の太鼓などが取り入れられており、楽譜を使わず、口承によって作ってきたそうです。4年生の演奏を聞いた八矢先生から、音の強弱や、演奏する時に体の動きを加えることで、さらに良くなるというアドバイスをいただき、また実演もしてくださいました。4年生の子どもたちは、口々に「ほんとうだ！」「すごい！」などと言いながら、真剣に話を聞いていました。

八矢先生は、「自分が作った太鼓が引き継がれて、昨年は創立150周年記念式典で演奏を見た時はうれしかった。」とおっしゃっていました。

「子どもたちのために」という思いから始まった桜堤清流太鼓が、それを引き継いできた子どもたち、先生たち、温かく見守ってくださる地域の方々によって、12年もの間、ずっと続いていることは、素晴らしいことだと思います。溝延小学校の伝統として、今後も大切にしていきたいと思っています。

本校ホームページへ
こちらからどうぞ



～チームで協力 あきらめないうで 楽しもう～



5月31日(土)に行われる運動会に向けて、全校での取り組みが盛り上がっています。6年生をリーダーに、4・5・6年生が応援団、アナウンス係、看板係に分かれ、それぞれが工夫を凝らしながら活動をしています。休み時間には、自分たちで声をかけ合い、リレーの練習に取り組む姿も見られます。

運動会当日は、赤組と白組に分かれた子ども達が、全力で優勝目指して戦います。保護者の皆様、地域の皆様のご声援をよろしくお願いいたします。



一緒にいかがですか～「人権の花」植栽活動



「地域の大人と子どもたちがつながる場をつくりたい」という願いのもと、今年度も、2年生と一緒に花植えをしてくださる方を募集します。小さな命を大切にすると、思いやりの気持ちを育むために実施している「人権の花」植栽活動。子どもたちと一緒に活動してみたいという方がいらっしゃいましたら、6月4日(水)までにご連絡ください。(☎71-1102)

植栽活動は6月6日(金)9:30から行う予定です。

お知らせです

河北町では、学校だよりは全戸配布ではなく、地区での回覧へと変更することになりました(9月号より)。学校だよりはホームページからもご覧いただけます。また、子どもたちの様子は、ホームページの「学校ブログ」でもご紹介しております。ご理解の程よろしくお願いいたします。

